

枝ぶりも頭にそびゆ枯木かな (加藤ひかり)



(秋のメープル)



(冬のメープル)

本校の安全対策

今秋、在ニューヨーク日本国総領事館より在外教育施設の安全対策についての調査がありました。その際に回答した安全対策について報告させていただきます。今後とも、子どもたちの安全を第一に更に改善を加えていきたいと考えています。

1 学校周辺の危険箇所チェックは行われているか
借用校周辺の安全確認を、複数の職員及び警備員によって日頃から行っている。

2 スクールバス経路等の安全対策は十分か
①信頼のおける全米規模のスクールバス運営会社に運営を委託している。
②スクールバスの運転手は危機対応のトレーニングを受けているとともに、常時連絡が可能な携帯電話を所持している。

③乗車している子どもの代表にGPSトラッカーと携帯電話を持たせ、バスの位置情報の把握と連絡が常時取れる状態にしている。

3 警備員の配置、警報機器設置状況は十分か
①現役警察官を警備員として配置し、事件・事故が発生した場合、現地警察署と直接連絡が取れる体制をとっている。

②校舎内外に借用校の監視カメラ約100台、火災報知機25ヶ所、消火器32ヶ所、AED2ヶ所、設置されている。



(警備員：地元の警察官)

4 安全対策マニュアルの整備は行われているか
①安全対策マニュアルを冊子の形で作成し、毎年見直しを行っている。
②冊子は全教職員に配布し、避難訓練時に説明を行っている。

5 緊急事態発生時の対応要領、緊急連絡体制の整備は行われているか

師走(12月)に入り、今年も残すところ1ヶ月となりました。借用校(パラマス校)のメープルもすっかり葉を落とし、冬支度を終えたようです。

本年の「新年の集い」では、今年の干支「申(さる)」にちなんで、子どもたちに様々なことに挑戦していただきたいという話をしました。また、リオデジャネイロでオリンピックが開かれ、世界中の人々が平和の下で運動を楽しむ世の中になって欲しいという話もしましたが、現実にはテロや内戦など世界はまだまだ



厳しい状況が続いています。

来年の干支は「酉(とり)」です。

来年こそは、鳥が元気よく自由に動きまわるように、世界中の人々がどこでも安心して暮らせる世の中になることを心より祈りたいと思います。

冬至について

今月21日は冬至です。

冬至は二十四節季の立冬から立春までの間にあり、「本格的な

寒さの冬はこれからですよ。」という覚悟を促す言葉でもあります。この日は、1年で太陽の高さが一番低く、昼の長さが一番短い日です。



日本では昔からこの日にゆず湯に入ったり、「ん」のつくもの(にんじん、レンコン、ナンキン(かぼちゃ))を食べると冬を元気に過ごせる。と言われています。

今年の冬も、寒さに負けず元気に過ごしましょう。



二十四節気



http://mackey.com/

緊急時の対応要領を全教職員に周知し、緊急時には全教職員・保護者への一斉メールとボイスメールを発信できる体制を整えている。

6 緊急事態対処訓練を定期的実施しているか



(4月の避難訓練)

4月：避難訓練、5月：緊急下校訓練、6月：ロックダウン訓練を幼児・児童・生徒、保護者、教職員の三者が一体となって実施している。また、

ロックダウン訓練では実施状況を警備員が観察し、事後にアドバイスをしてもらっている。

7 施設管理者の危機管理意識の向上は行われているか

- ①施設管理者である校長は、NY 総領事館主催の「海外安全対策協議会」等に参加し研鑽を積んでいる。
- ②教職員対象の安全研修会を実施している。
- ③毎週、借用校のセキュリティスタッフとの情報交換及び安全要請を行っている。

頑張ってます！児童会



(事前の話し合い)



(準備)



(事前の試行を楽しむ様子)

6年生が役員をしている児童会は、年間を通して様々な活動を展開しています。

12月は、「児童会ゲーム大会」と名づけて、5・6年生が様々なゲームを準備し、初等部1年生～4年生を順番に招待して楽しませる計画を立てています。

事前の話し合いと準備期間を経て、11月26日は自分達の作ったゲームがうまく運営できるかを事前に試行し、上々の出来であることを楽しみながら確かめたようです。

「学校説明会」で話すこと

今月3日、今年度2回目の学校説明会を実施いたします。今回の説明会で校長が話す内容を、紙面をお借りして簡単に紹介させていただきます。



1 本校の概要

①本校の歴史

* 開設54年(1962年にNY日本クラブに開設)

②在籍数:幼・小・中・高・国際(12/3現在)450名

③経営理念

「全ては子どもたちの笑顔のために」

2 補習授業校について

①本校の5つの特色

* 図書室蔵書6000冊

* デジタル教科書を使った授業

* 文科省派遣教員(校長、教頭)

* 幼小中高の一貫教育

* 恵まれた自然環境

②子どもたちの海外滞在年数

* 5年以上→約70%



(デジタル教科書を使った授業)

③母語の大切さ

* 母語と第二外国語は表面上まったく違うように見えても深層部分で共通の領域を持ち、言語能力はどちらか一方の言語によって高めることができる。

3 日本の宝・世界の宝

グローバル化の中で、必要とされる人材とは

①語学力(英語)

②度量(誰とでも対等に立ち向かう態度)

③国際的な知識と教養

4 最後に

* 家庭は第二の補習校

* 保護者は第二の先生



(第1回説明会 6/6)

— 冬期の事務所クローズ期間 —

※Fort Lee 事務所のクローズ期間

12月26日(月)～1月4日(水)

必要な連絡はメールでお願いいたします。

